

第 1 回 町田市立学校の新たな通学区域のあり方検討部会の議事整理について

第 1 回検討部会で部会員から発言があった内容のうち、第 2 回審議会で確認すべき事項を整理いたしましたので下記のとおり報告します。

1 学校統廃合の検討対象校案の示し方について

【委員意見】

昨年のアンケートでは統廃合やむなしという意見が結構出た。今回のアンケートでは、統廃合があると明確に言うておく必要があるから、それによって自分の子どもが通学している学校がなくなることに対するインパクトは聞いておかないといけないと思います。

【資料への反映】

町田市立学校の新たな通学区域（アンケート調査案）において、児童・生徒数推計をもとに通学区域の統合を検討する対象となる学校を示しました。

また、アンケート調査において、通学区域の統合を行った場合の学校の位置について確認する設問を設けました。

2 回答者の視点について

【委員意見】

学校統廃合には一定の時間が必要な訳で、自分の子どもは統廃合の対象ではない可能性がある。だからこそ聞き方が重要で、あなたの子どもは対象ではないけれど、あなたの子どもだったらどうですか、というところを明確にしてアンケートを作った方が良いと思います。

【資料への反映】

アンケート調査において新たな通学区域（アンケート調査案）をご覧いただくときの目線について、委員のご意見を踏まえて学校統廃合にかかる時間を意識していただけるよう工夫をしました。

3 Web フォームにおける設問表示の工夫について

【委員意見】

Web フォームで回答する時に、郵便番号を入れるとお住まいの町区域が学校統廃合に該当するかどうかで設問の表示を変えることができるのか教えていただければと思います。

【資料への反映】

検証したところ、web フォーム（Google フォーム）の仕様上は可能でした。

ただし、教室数の不足などにより町区域の一部を分割して複数の通学区域に分かれる場合がある場合の分類ができないことから、web フォーム上の設問表示ではなく、設問を工夫いたしました。

4 通学区域の統合検討対象校の示し方について

児童・生徒数や学級数を回答者に読み込ませるのはすごく難しいと思います。検討対象となる学校の結論（統廃合の検討対象がどこか）が端的にわかるような見せ方をする必要があるのでないでしょうか。

【資料への反映】

アンケート調査票の中で、各地区の通学区域の統合検討対象校がわかりやすくなるよう工夫をいたしました。